

【埼玉県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
深谷市	榛沢	ブロッコリー・スイートコーンなど露地野菜産地への変貌	1	H30.03	4
比企郡吉見町	吉見領	排水機場・排水路の改修により農地・農業用施設の湛水被害を防止	2	R3.03	7
越谷市ほか	古利根堰	危機管理施設の整備により河川流域の洪水被害を防止	3	R4.03	8
白岡市	篠津	簡易な基盤整備による耕作条件の改善による農地集積の拡大	4	R4.03	8

【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に、スイートコーンやブロッコリーなどを導入し、**養蚕から露地野菜の産地へ変貌**。地域協議会が中心となり、生産技術の向上や地域貢献にも取り組む。
- **品種や作型を組み合わせた土地利用体系を確立**し、高品質な野菜を計画的に出荷することで**市場の評価を高め、JA榛沢ブランドを定着**。

基盤

畑地かんがい施設の整備により露地野菜へ転換

- 国営かんがい排水事業により安定した水が届くようになったことを契機に、県営基盤整備事業により桑園を抜根整地し、区画整理、畑地かんがい施設等を整備。
- 基盤整備の結果、自由な水利用が可能となり、**露地野菜の導入**が進んだほか、**営農作業の効率化や生産物の品質向上、収量増加**に結び付くなど、収益性の向上に寄与。



基盤整備 (S41年～H4年)

【整備前】

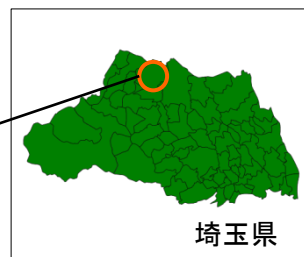
昭和40年代まで中心であった養蚕業は生糸の価格低迷により撤退が進んでいたが、用排水路や農道、畑地かんがい施設などの生産基盤が未整備であったため、収益性の高い野菜等の代替作物の導入が困難であり、**未利用桑園が増加**。



荒廃農地の様子

【取組地域の概要】

- 位置
ふかやし
埼玉県深谷市



はんざわ
榛沢地区

- 主要作物
・ブロッコリー
・スイートコーン
- 主な支援施策
・県営ほ場整備事業
「荒川中部一次地区」(S41～H4)
・国営かんがい排水事業(S34～41)
・国営かんがい排水事業(H26～)
・県営かんがい排水事業
「荒川中部右幹線、
荒川中部左幹線地区」(H26～)

生産現場

より高品質な作物栽培への取組



- **地域協議会が中心となり、スイートコーンやブロッコリーを導入**。出荷規格の徹底など品質向上に向けた取組も実践。
- **品種・作型を組み合わせた出荷期間の延長**による安定的な出荷を通じ、高い市場評価を得るなど**ブランド化を推進**。
- スイートコーンは、フルーツを超えた糖度を誇る**新品種「味来」を導入**し高評価を得ている。

加工・流通

流通体制の構築による販路拡大



- **朝採り出荷**や、予冷库・鮮度保持フィルムの導入によって鮮度を保持し、**高品質の農産物を市場に出荷**。
- CMや店頭キャンペーン等により直売所等での販売を拡大。

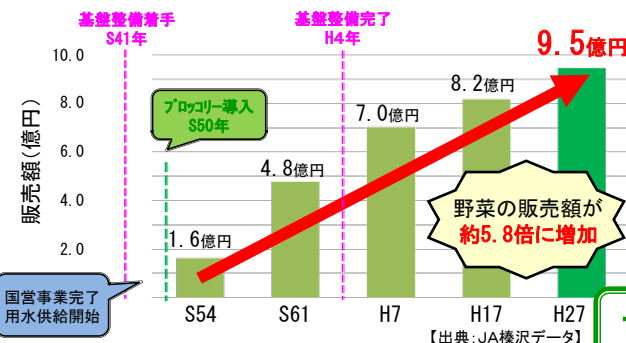
露地野菜の導入と地域ブランド化による販売額の増加

- スイートコーンやブロッコリーといった**露地野菜の生産を拡大**するとともに、高品質かつ安定的な出荷に向けた取組により、**市場から高い評価を得るなどブランド化を推進**。単価も向上しており、**地域全体の販売額も増加**している。



【JA榛沢における野菜の販売額】

【例：ブロッコリー単価】
279円/kg(S61) → **372円/kg(H27)**

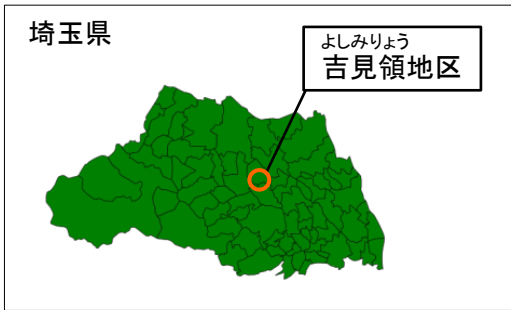


【工夫のポイント】

- 近年の都市化の進行に伴い洪水量が増加し、農地や農業用施設への浸水被害が深刻化。
- 排水機場と機場へ導水する幹線排水路を整備し、強制排水を行うことにより、湛水を未然に防止。

【取組地域の概要】

○位置 ひきぐん よしみまち
埼玉県比企郡吉見町



- 主要作物
・水稲、いちご、きゅうり
- 主要施設
・排水機場 1か所
・排水路 1.8km
- 主な支援施策
・県営湛水防除事業(H10～R1)
・県営かんがい排水事業(S31～S41)

農地や農業用施設の湛水被害を防止

排水機場及び排水路の改修により地区内の排水能力が向上したことで、豪雨時の湛水被害の発生が防止され、地域の安全を確保。

整備後の排水ポンプ



整備後の排水機場



整備後の排水路

基盤整備
(H10年～R1年)

【整備前】

受益地は荒川と市野川に囲まれた水田地帯であり、豪雨のたびに農作物や農業用施設等に被害が発生。

農地の湛水被害状況



通常時



湛水時

特産品のイチゴを使用した加工品の販売

○ 湛水被害が防止されたことで、特産品であるイチゴの安定的な生産が可能に。

○ いちごドレッシングやイチゴバターなどの加工品を販売。



生産現場

地域の安全性向上

○ 豪雨時における道路や家屋、公共施設の冠水の程度が小さくなり、避難経路も確保できるようになったことから、住民の生命や財産を守るための行動等に寄与している。



吉見町によるハザードマップ説明会



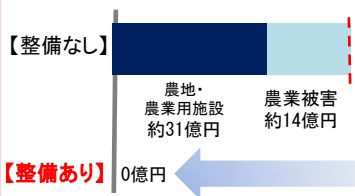
吉見町地域洪水ハザードマップ

地域の取組

湛水被害の未然防止と財政健全化への貢献

○ 排水機場、排水路の改修により、高い防災・減災効果を発揮し、事業完了後は農作物や農地・農業用施設の被害ゼロ。

農業関係想定被害額



○ 約45億円の想定被害を未然に防止。
(整備費用37.9億円)

○ また、排水機場の除塵設備はスクリーンのみであったため、人力で除塵作業を行っていたが、除塵機を設置したことにより維持管理が格段に省力化。



スクリーンのみの除塵設備



人力による除塵作業



除塵の自動化

【対策のポイント】

おおとしふるとねがわ

- 大落古利根川は市街地を流れており多くの住宅が隣接していることから、増水時には古利根堰のゲートを的確に開放し、**洪水を速やかに流下させることが必要**。
- このため、3か年緊急対策において、**監視カメラ等の危機管理施設を更新**。
- 令和3年7月の豪雨や令和3年10月の台風16号では、**更新・新設した危機管理施設が洪水被害の未然防止に貢献**。

危機管理施設の更新・新設を実施

- 3か年緊急対策により、**Webカメラの設置や非常用発電設備の嵩上げ等を実施**。

基盤



<更新前>

基盤
整備
(R2)



<更新後>

嵩上げ

【取組地域の概要】

- 位置
こしがやし
・埼玉県越谷市ほか

埼玉県

ふるとねがき
古利根堰地区



- 主要作物
・水稻

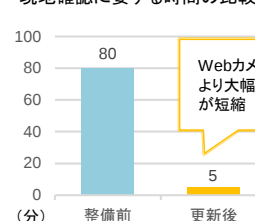
3か年緊急対策により更新・新設した危機管理施設が流域の洪水被害の未然防止に寄与

- 令和3年10月1日の台風16号では**24時間雨量80～99mm**を記録。このほか、時間雨量20mm以上、24時間雨量80mm以上の**豪雨が頻発**。
- 従来は土地改良区職員が現地で水位調整の要否を判断していたが、Webカメラや水位計を設置したことにより、集中管理所や**スマホ等で河川の急激な水位上昇等の変化を把握**することが可能。
- また、遠方制御設備の整備により、**集中管理所からの堰の操作が可能**。
- さらに、非常用発電設備の嵩上げにより、**堰管理所が浸水した場合でも操作等のための電力を確保**。
- これらにより、**ゲリラ豪雨等の予測の困難な事態にも早急な対応が可能となり、流域の洪水被害の未然防止に貢献**。

対策の
効果



現地確認に要する時間の比較



事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	2億3,300万円	R2
うち3か年緊急対策	2億3,300万円	R2

【対策のポイント】

- 基盤整備により営農効率の良いほ場を整備。
- 農地中間管理事業による農地集積により、高齢化による耕作者不足や遊休農地を解消。

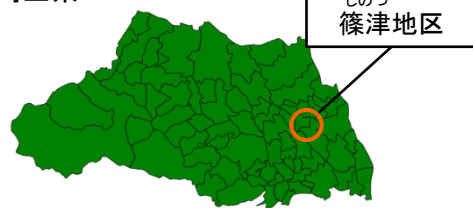
【取組地域の概要】

○位置

しらおかし

埼玉県白岡市

埼玉県



- 事業名
農地耕作条件改善事業（R1～R2）
- 主要作物
ネギ
- 受益面積 6.4ha
- 主要工事
区画整理：6.4ha

簡易な整備による耕作条件の改善

- 現況ほ場は狭小、不整形で田畑が混在し、道路も未整備であり、地域の高齢化とともに遊休地が目立つ農地であった。
- 区画整理とかんがい施設の整備により、高収益作物への転換が促進された。

基盤



整備前

基盤整備

(R1～R2)



整備後



遊休化した農地



ネギ団地となった農地

耕作者不足と遊休農地の解消

- 高岩地区耕作条件改善推進協議会で話し合いを重ね、基盤整備と合わせ、農地中間管理事業による農地集積を実現。

集積・集約



説明会



現地調査

農地集積の拡大に伴う生産拡大

【担い手への農地集積】

- 農地中間管理機構等と連携し、担い手へ農地集積。
担い手 中心経営体1法人
集積面積 6.4ha（集積・集約率100%）

【農業生産性の向上】

- 農地耕作条件改善事業の活用により、未整備農地を一枚の畑地とすることでネギの生産を拡大（0.5ha→6.4ha）。

対策の効果



着色 担い手



着色 担い手